



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大阪市城東区野江2丁目計画新築工事		
建設地	城東区野江2丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	683.92	m ²	
建築面積	265.44	m ²	
延床面積	2,583.87	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上11階
完了年(予定)	2026年12月		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

B-
BEE = 0.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

ラベル表示 有

2-4 中項目の評価(パーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.9

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項		
総合	・更新、維持管理のしやすい設計に加え再生利用が可能な資材を多く採用し環境に配慮している。	その他 ・防災評定を受けることにより、建物全体の安全性、避難及び消防活動の有効性を向上させている。
Q1 室内環境	・ホルムアルデヒドの発散を抑制したF☆☆☆☆建材の採用により、化学汚染物質による空気質汚染を回避する対策がとられている。また、建物内の全面禁煙により、空気質環境を向上させている。	Q3 室外環境 (敷地内) 積極的に緑化に努め、まちなみ・景観やアメニティに配慮している。
LR1 エネルギー	・Low-Eガラスや断熱材により断熱性能を高め、建物外皮の熱負荷抑制を図っている。	LR3 敷地外環境 ・屋外照明に関して光害の抑制を検討し、周辺環境に配慮している。 ・駐車駐輪施設を十分に確保し、交通負荷抑制に努めた。
Q2 サービス性能	・宅配連動型の集合インターホンや伝票番号認証型オートロック解除システムを採用することにより、居住性を工場させている。	
LR2 資源・マテリアル	・有害物質を含まない接着剤や、オゾン破壊係数や地球温暖化係数が小さい断熱材の採用により、汚染物質含有材料の使用回避を図っている。自動水栓の採用により水資源保護に努めている。	

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.6

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.1
配慮事項		

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	1.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	3.7
配慮事項		

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分(品確法等級) 等級4 (相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m] -	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m] 0.93	住宅部分[BEI] 0.93	非住宅部分[BEI][BEI _m] -